

みかんとバナナの個数をもとめよう

単元	場合を順序よく整理して	対象学年	6年
ねらい	ヒントカードをスモールステップをふんで読み取れるようにし、集合の図と式を対応させて、自分の考えをもてるようにする。		

1 準備するもの

教師：貼ってはがせる糊

2 学習のしかた

(1) 問題を読み役割演技を取り入れて場面把握をする。

- ・問題の構造が2段階（それぞれの人数を求め、みかんとバナナの個数を求める）になっているため、実際に役割演技を取り入れ場面を把握できるようにする。

問題

子ども会で下のようにみかんとバナナを配ります。ほしいものに手をあげてもらったら、みかんに手をあげた人は18人、バナナに手をあげた人は20人で、そのうち両方に手をあげた人は11人でした。

両方に手をあげた人・・・みかん1個、バナナ1本
みかんだけに手をあげた人・・・みかん2個
バナナだけに手をあげた人・・・バナナ2本

このように配ると、みかん、バナナはそれぞれいくつ用意すればよいでしょう。

(2) 個人追究を進める。

- ・それぞれの人数を求めることができず困っている子にヒントカードを与える。
- ・ヒントカードはその子のつまずきのレベルに合ったものにした。そこで、3種類のヒントを準備する。

(3) ペアで自分の考えを伝え、確かめたり考え方を聞いたりする。

(4) クラス全体で考えを確かめたり、みんなで考え方を深く話し合ったりする。

(5) 授業の振り返りを行う。

3 学習上の留意点

- ・問題を提示した後に、分かっていることと求めたいことをクラス全体で確認する。
- ・(4)のクラス全体での追究活動では、考えた図が式のどの部分と一致しているのか確認する。

4 学習の効果

- ・ヒントカードを使うことで、子供一人一人の実態に応じて課題追究することができる。
- ・ヒントカードを使い課題解決することで算数が苦手な子供でも自分でできるという自信をもつことができる。

5 参考資料

作り方：①に貼ってはがせる糊で③を貼る。

③の下の帯グラフ上に②を貼り（貼ってはがせる糊）、目隠しにする。

（貼った部分をはがしていくと、徐々に解答に近づいていく）

